

事務事業名		専用水道等水道施設対策事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり					担当係	環境政策係	担当課長名	川俣 浩	
	施策	2 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 良好な生活環境の保全					実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7653	一般	4	1	5	専用水道等水道施設対策事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H25年度～ 年度			根拠法令 条例等	水道法、佐野市専用水道事務取扱規則、栃木県小規模水道条例				
							実施方法	直営			
							事業分類	許認可・審査事務			
							リーディングプロジェクト	該当なし			
							市長マニフェスト	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
水道法に規定される専用水道及び簡易専用水道、並びに栃木県小規模水道条例に規定される小規模水道について、布設工事の設計の確認、各種届出の受理、改善の指示、立入検査等を行う。	各種届出(専用水道水道技術管理者変更届出、記載事項変更届出、管理者届出等)の受理、水道施設への立入検査、水道統計調査等の実施					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
各種届出の受理	件	10	4	6	5	10
水道施設立入検査	件	3	13	11	10	10

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

水道施設(専用水道施設、小規模水道施設、簡易専用水道施設)	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	専用水道施設数	施設	6	6	6	7	7
	小規模水道施設	施設	25	25	25	26	26
	簡易専用水道施設	施設	161	163	165	165	165

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

専用水道及び小規模水道の適正な布設及び管理、並びに簡易専用水道施設の適正な管理	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
	給水停止命令件数	件	0	0	0	0	0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

良好な生活環境が維持されている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
	河川・地下水の環境基準達成率	%	-	99.4	99.0	99.0	100

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)				
	国庫支出金	千円									
	県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	99	38	36	45	20				
	事業費計(A)	千円	99	38	36	45	20				
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
			11需用費		11需用費		11需用費		11需用費		
			001消耗品費	35	001消耗品費	38	001消耗品費	36	001消耗品費	45	001消耗品費
18備品購入費											
001庁用器具費			53								
002機械器具費	11										
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2				
	のべ業務時間	時間	32	60	60	60	60				
	人件費計(B)	千円	125	236	234	231	231				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	224	274	270	276	251				

事務事業名	専用水道等水道施設対策事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成25年4月に水道法及び栃木県小規模水道条例の一部の事務が市に権限移譲されたことにより、開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 水道施設の布設及び管理を適正なものとするにより、良好な生活環境が維持できるため、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 法令に基づく事業であり、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 水道施設の適正な管理を推進するための事業であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 水道施設の適正な管理を推進するための事業であり、成果向上の余地がない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 必要最小限の事業費と人件費で実施している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 法令に基づく事務事業であり、受益者負担を求めるものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	専用水道、簡易専用水道、小規模水道の施設がすべて廃止されれば、終了することができる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																			
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	